

第 21 号

群大病院 地域連携だより

病院の理念

大学病院としての使命を全うし、
国民の健康と生活を守る。

基本方針

安全・納得・信頼の医療を提供する。
次代を担う人間性豊かな医療人を育成する。
明日の医療を創造し、国際社会に貢献する。
医療連携を推進し、地域医療再生の拠点となる。

平成 27 年度 地域医療連携施設交流会

患者支援センター センター長 村上 正巳



平成27年7月2日に前橋市商工会議所において第6回群馬大学医学部附属病院地域医療連携施設交流会を開催いたしました。皆様にご心配いただいております医療事故の問題を受けて重粒子線治療を停止しておりましたが、7月2日の先進医療会議において治療再開が認められたとの連絡が入り、お集まりいただいた先生方にご報告することができました。

I 部の活動報告には群馬県医師会ならびに郡市医師会から97名の多くの皆様にご出席いただきました。最初に群馬県医師会長の月岡先生、前橋市医師会長の中屋先生にご挨拶いただき、群馬大学医学部附属病院の医療事故対応を中心とした近況報告、新たに設置された内科診療センターならびに外科診療センターの説明、最後にごがん診療拠点病院についての報告をさせていただきました。

II 部の懇親会には院外から70名の多くの皆様にご出席いただき、前橋市医師会副会長の岸川先生に乾杯のご発声をいただきました。懇親会の途中で先進医療会議から田村病院長も駆けつけ、盛会裡に終えることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

ご出席いただいた先生方から、群馬大学医学部附属病院への叱咤激励のお言葉を沢山いただきました。今後、法令遵守の徹底、診療体制の見直しなどを通じて、医療安全対策強化と医療の質向上を目指して、信頼回復に努める所存ですので、群馬大学医学部附属病院ならびに患者支援センターへの皆様の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



群馬大学医学部附属病院
患者支援センター（連携担当）

〒371-8511 前橋市昭和町三丁目 39 番 15 号
電話 027-220-7733

FAX 027-220-7777

患者支援センターホームページ

<http://kanjasien.dept.showa.gunma-u.ac.jp/>

〔開催報告〕

～ 群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座 ～

6月20日(土)群馬会館を会場として、群馬県におけるがん対策推進を目的に、患者及びその家族、医療関係者、行政担当者が交流や意見交換を行う市民講座を開催しました。

今年度は、国立病院機構西群馬病院・外科部長(呼吸器外科)川島先生より、「肺がんの治療～特に外科治療の立場から～」と題して教育講演を行いました。特別講演として、医療法人どちペインクリニック玉穂ふれあい診療所・統括看護師長の長田先生をお招きし、「家族ががんになったら…」ー覚悟をきめて「死」を看取るーをテーマに講演が行われました。当日は170名もの方々にご参加いただきました。「肺がんの手術の話など、とても為になりました。」「その人に寄り添いその人らしく最後をむかえられていることに感動しました。」といったご意見をいただき、特別講演では涙をぬぐう方もいらっしゃいました。



～ リレー・フォー・ライフジャパンぐんま 群大病院プレイベント ～

10月5日(月)～6日(火)あなたの手が誰かを支えるをテーマに、病院内でプレイベントを開催しました。このイベントは、「当日参加できない患者さんたちを励ましたい」という当院に通院する患者さんの熱い思いから始まり、実現いたしました。

5日は演奏会や詩の朗読、サバイバーズフラッグ制作を行い、外来通路には入院中や外来通院中の患者さんやご家族にご覧いただけるよう、ルミナリエを24時間展示いたしました。プレイベントで作成したフラッグは、10月17日(土)～18日(日)に開催された本イベントに持参し、当日参加できない皆さんの思いと共にリレーウォークに参加しました。



リレー・フォー・ライフジャパン 2015ぐんま に参加しました

リレー・フォー・ライフは、がん征圧を目指し、がん患者や家族、支援者らが夜通し交代で歩き、勇気と希望を分かち合うチャリティーイベントです。当院からは304人が参加し、24時間バトンをつなぎ、完歩しました。